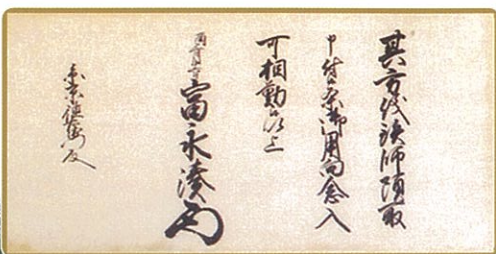


# 山家 連綿

## 元松江藩 鉄師頭取 絲原家



松江藩より絲原家に与えられた「鉄師頭取免状」

絲原家は中世武家の一門で、初代善左衛門が江戸時代初期に備後国(広島県)から郡内大馬木村に移住。帰農して、間もなくたたら製鉄も始め、江戸時代中期に9代忠三郎が現在地にたたら主力工場である高殿(鉄穴鉦)と居宅を移し、今日に至っています。

約400年の歴史をもつ絲原家の現当主は15代徳康です。藩政期には松江藩の5鉄師の一人に任ぜられ、鉄師頭取も務めました。大正時代後期に、洋式製鉄の普及により約280年間燃やし続けて来たたたら火を消し、家業を山林業に転換しました。その間、12・13代武太郎は貴族院議員として国政に参画し、国鉄木次線(現JR)の開通に尽力しました。14代義隆は半世紀にわたり地方自治にたずさわりました。



絲原家家紋“花抱き茗荷”



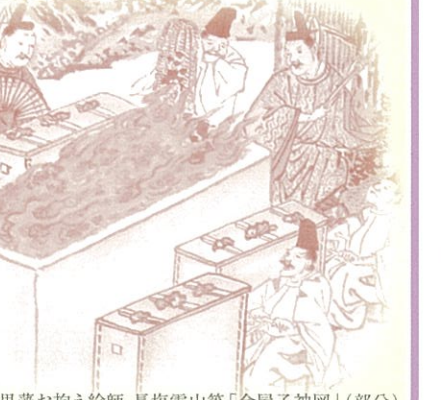
### 絲原家400年の伝統“三方飾り”

家内安全・子孫繁栄・五穀豊穡を願い、奥出雲の自然の恵みや海の幸を三方に配した、約400年続く絲原家伝統の正月飾り。

### たたら製鉄って…?

映画“もののけ姫”にも登場する“たたら”は、その語源ともなったとされる中央アジアのタートル人が考案した砂鉄と木炭を粘土製の炉内で燃焼させ、砂鉄中の不純物を還元分離して、鉄(銑鉄と鋼)を得る古式製鉄法のことです。わが国には古墳時代に中国大陸から伝来し、洋式製鉄が普及する大正時代まで行われました。

その2大原料である良質な砂鉄と、豊富な木炭資源を有するこの奥出雲がその主産地として、江戸時代末期には全国の約30%を生産していました。



母里藩お抱え絵師・長塩雪山筆「金屋子神図」(部分)

# 深山 幽谷

## 国登録有形文化財 絲原家居宅

絲原家の居宅は江戸時代後期に建築され、松江藩主の本陣としても利用された“客殿棟”と大正13年(1924)に建てられ、書院・二の間・三の間の3間続きの客間を持つ“母屋棟”などがあり、その延床面積は1,627㎡(約493坪)、部屋数は約40室です。現在も当主家族が居住し、事務所もあります。その入口は藩主来駕用の御成口、賓客用の式台玄関、一般の玄関にあたる大戸口、使用人用の通用口、裏木戸口の5ヵ所があります。



大戸口内の梁組



書院・二ノ間・三ノ間(煙霞屋)



紅葉の庭園

## 出雲流の名園 絲原家庭園

山かげの仁多の長者の家ひろし  
泉の音に青すだれして  
鉄の幹



初夏の庭園全景

林泉に松の山をば重ねたり  
五月の風を人ききぬべり  
晶品の子く

奥出雲の山々を借景とした庭園は、全庭1,188㎡(約360坪)、この中に72㎡(約22坪)の池泉を有する池泉回遊式の出雲流庭園です。この場所は元はたたら原料の砂鉄を採取した跡地で、江戸時代末年頃から築庭にかかり、約50年後の明治時代中頃に完成したものです。その特徴は書院前の飛び石組手法(細長い短冊石と丸い石の組み合わせ)にあり、これは大名茶人・松平不昧が京都より招いた庭師・沢女丹が考案したものといわれています。なお、庭園内には四畳半台目の茶室“為楽庵”(非公開)があります。

出雲流の飛び石組



### 施設概略図 所要時間

- I 記念館エリア <25~35分>
- II 居宅・庭園エリア <15~25分>
- III 洗心乃路エリア <20~30分> (洗心乃路は冬期間休業)
- 《合計所要時間》 60~90分 (個人差がございます)

# 草径 洗心

## 林間散策路 洗心乃路

記念館の奥手約130mの中国山地の山間に、平成21年(2009)秋から公開を始めた“洗心乃路”があります。ここは絲原家の番頭・手代の住居や砂鉄採取を行った跡地で、せせらぎもあるこの地を林間散策路として整備したものです。総面積約6,800㎡(約2,060坪)の中に約300mの遊歩道を設け、奥出雲の山野草・茶花・樹木など約300種が植栽されています。その各々に解説板が取り付けられており、野鳥のさえずりと春の芽吹き、薫風そよぐ新緑、夏の緑陰と蝉時雨に吹く涼風、草むらの虫の音と秋の紅葉など奥出雲の季節の移ろいが体感できる絶好地です。なお毎年11月初旬には紅葉ライトアップを行います。

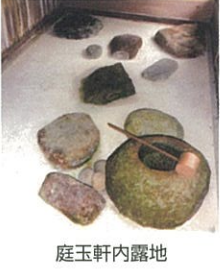


紅葉の「洗心乃路」露地門 扁額染筆・茶道裏千家坐忘斎千宗室御家元



### 二畳台目茶席 庭玉軒

“洗心乃路”入口部の高台には、昭和10年(1935)の近衛文麿公来遊に際し、公の紹介で建築した茶席“庭玉軒”があります。本歌は京都大徳寺真珠庵内にある庭玉軒で、その特徴は雪国向けに内露地内に躰階が設けられていることです。なお、本席は付帯する広座とともに1日15,000円で、貸茶席としてもご利用いただけます。



庭玉軒内露地

### 来遊文人墨客と 絶唱ロケ

絲原家には明治の著名な南画家田能村直入(明治11・12年)、近代日本を代表する歌人と謝野鉄幹・晶子夫妻(昭和5年)、昭和初期の貴族政治家で元首相の近衛文麿(昭和10年)など多くの文人墨客が訪れ、各々がその印象を作品に残しています。また純愛小説“絶唱”の映画(昭和33年)とテレビ(昭和40年)、近年ではTBSテレビ(平成24年)「リーダーズ」のロケ地になりました。



御成門と絶唱記念碑